

なぜ今

2026.

6/16(火)

18:30-20:30

会場

クロスベイ新湊2階
iCN ホール
射水市本町二丁目10番30号

内川に

情景条例

暮らしと景色をつないでいく
「情景条例」はじまりのシンポジウム

が必要
なのか



参加費
無料

私たちと一緒に考えませんか？



詳細は裏面をチェック！

主催：射水市 企画運営：株式会社リノベリング

こんな方にぜひ参加してほしい！
内川が好きで
このまちでの
暮らしを
楽しみたい方

内川の唯一無二
の魅力を、誇りを
持って次世代に
繋ぎたい方

自分たちの手で
日々の暮らしを
より良く、心地よく
していきたい方



軒先にゆらゆらと映り込む水面。

どこまでも広がる雄大な立山連峰と青空。

真夜中に響く船の音、遠くで鳴くトンビ、

そしてまちに染み渡る暮らしの音。

内川が持つこの「情景」は、誰かが意図してつくったものではありません。長い年月の中、日々の暮らしや生業が積み重なって受け継がれてきた「奇跡」のような風景です。

このかけがえのない湊町の姿を、次の世代へ、その先の未来へと繋いでいくために。

今年度、私たちは「情景条例」の策定に向けて歩み始めます。

今回は、独自の規範『美の基準』によって彩り豊かな生活風景を守り続ける神奈川県真鶴町より、まちの魅力を再発見し発信し続ける「真鶴出版」の川口瞬さん。そして、都市デザインとまちづくりの視点から数々の地域を見つめてきた横浜市立大学教授の鈴木伸治さんをお招きします。

会の後半には、射水市長も交えたトークセッションも予定しています。

内川の情景を未来へ繋ぐための一歩を、共に踏み出しませんか。

講師

川口 瞬

Kawaguchi Syun

真鶴出版代表

雑誌『日常』編集長

日本まちやど協会理事



講師

鈴木 伸治

Suzuki Nobuharu

横浜市立大学

国際教養学部教授



大阪出身。東京大学助手、関東学院大学助教授を経て現職。専門は都市計画、都市デザイン。NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター理事長。現在神奈川県を中心に各地の景観まちづくりに関わる。逗子市景観審議会会長など。主な著作として、『初めて学ぶ都市計画(第三版)』(共編著、市ヶ谷出版、2024)『都市の遺産とまちづくり アジア大都市の歴史保全』(編著、春風社、2017)など。

射水市長

夏野 元志

Natsuno Motoshi



モデレーター

水上 幸子

Mizukami Sachiko

(株)リノベリング 取締役

大阪府茨木市生まれ。出産を機に転職し現職。全国でリノベーションまちづくりをプロデュースしながら地元茨木でも設計事務所の立場で地域価値の向上に寄与する活動を行っている。



参加費
無料

ご参加をお待ちしております！

お問い合わせ

射水市 産業経済部 観光まちづくり課

TEL: 0766-51-6676

✉ kankou-machi@city.imizu.lg.jp

応募方法

右の二次元コードから
ご応募ください。

応募締切

2026.6/12 金

